

JALの不当解雇とたたかう労働者を支援する根室集会



2017年5月19日

不当解雇とたたかう日本航空労働者を支える釧路・根室の会が主催する「JALの不当解雇とたたかう根室集会」が根室市総合文化会館で開催されました。

はじめに全国労働組合連絡協議会の金澤壽議長が2010年暮れの整理解雇から7年が経過する原告団のたたかいをしっかりとあげまわしていきたい、とあいさつ。

JAL 不当解雇撤回原告団の上院原告団事務局長の清田均氏と客乗原告団副団長の鈴木圭子氏が、経営破綻したJALが2010年に行った整理解雇の状況や、またそのために現在もパイロットや客室乗務員の人材が不足しており、安全性にも支障が生じかねない状況にあること、また厳しい生活環境に追い込まれながらも原告団の方々が頑張って運動を展開している様子を率直に訴えました。

深刻な機長・操縦士不足の状況で、現在JALでは過労のため約5%近くの職員が病欠となっているそうです。また客室乗務員についても半数が3年未満のスタッフで、新人に十分な指導が出来ず、仕事のやりがいを感じられない職場環境となっていると指摘。サービスや安全業務に支障が生じていると言います。

2010年の整理解雇も、明らかに原告団が当時所属していた組合を「狙い撃ち」する意図のやり方で、その結果、会社に「ものを言えない職場」になっていることを大変危惧していました。

そのうえで両氏は「原告団のこの解雇の問題を解決しないと、働きやすい職場をつくれぬ」、「今の司法は会社や国交省の立場にばかりたっているが、運動の輪を広げ世論を高めて包囲していきたい」と活動への積極的な支援を呼びかけました。



人材の確保・育成・地元定着の促進へ根室市雇用対策協議会が発足

2017年5月19日、「平成29年度 根室市雇用対策協議会 設立総会」が行われました。この雇用対策協議会は、企業や労働者・学校・行政・労働団体などの関係機関が、雇用に関する課題を共有し、その施策を一体となって進めるために、市内の「雇用環境の整備・改善、地域の発展を担う人材の確保・育成・地元定着等の推進を図る」ことを目的とし、根室市と北海道やハローワーク、根室商工会議所など12団体会員が参画しています。

ハローワークの資料によると管内の2017年3月の有効求人倍率は1.44倍、高校の新卒者への求人倍率は2.29倍と高い水準となっています。よく市民の方は「根室は働く場所が無いから若者がいなくなる」と指摘しますが、市内企業の人材不足は切実な状況と言えます。

こうした状況に対し雇用対策協議会では、2017年度の事業として、市内高校生への就職説明会やU・Iターンを目的とした都市部での就職説明会の開催、そして雇用実態・就労実態調査などを6月～7月にかけて実施する計画としています。特に市内労働者の意識・動向について把握する調査は今年度の新たな取り組みです。

市と商工会議所では毎年、「雇用・給与実態調査」を実施してきましたが、調査への回答数も少なく市内の雇用や労働環境の十分な実態把握や、その結果を踏まえた施策の実施に至っていませんでした。特に若年層の人材確保に向けて、市内企業はどのような取り組みを進めていくべきか、また行政としてどのような支援策を打ち出すことができるのか、十分な検証をすすめていくことが期待されます。



食べ物を粗末にするな

2017年5月22日

衆議院議員 島山 和也

先日、札幌市で種子法廃止をうけたシンポジウムがありました。主催は「親子で憲法を学ぶ札幌の会」。北海道産農産物のマルシェまで開く力の入れようで、会場もびっしり。私も手作りカレーをおいしくいただきました。

山田正彦・元農林水産大臣に民進党・徳永エリ参議院議員、私も加わったシンポジウムは関心の高さがビンビンと伝わる会場の雰囲気。食と農を営利企業に売り渡す、安倍政権のやり方に多くの方が不安を感じているんですね。真剣な視線とともに、時々聞こえる赤ちゃんの泣き声。参加者は若いお母さんはじめ、圧倒的に女性が多かったのも特徴でした。

種子法廃止法案は可決されましたが、どんどん不安の声が広がって、いま農水省は全国での説明会に追われる事態になっています。与党のなかにも「そんな問題があったのか」と今ごろ慌てている様子も。会場から「北海道で、種子を守る会をつくろう」との発言に、共感の拍手が広がりました。

シンポジウム後、主催者のAさんから「これ食べて！」といただいたのは玄米おにぎり。モグモグ食べると、お腹も心も満たされていく感じに。食べ物を粗末にする安倍政権には、必ずしっぺ返しがあると確信しました。

共にしあわせ産みだす党 日本共産党

市議団ニュース

第1846号 2017年5月28日

日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 TEL23-6023